

統一矯正歯科専門医の資料作成機能用ソフトの使用法

2019年10月28日

安永コンピュータシステム株式会社

症例記録簿について 提出する資料書類は下記の①から⑨が必要です。AtoZでサポートしています(A)から(G)までの出力操作について簡単に次頁から説明します。

- ① 表紙 (省略)
- ② 課題症例記録簿 (省略) 側面頭部X線規格写真の分析結果 (A)
- ③ 顔面写真 (B) (左から側面・正面・できればスマイル)
- ④ 口腔内写真 (C) (カラー5枚組：正面、右側、左側、上下顎歯列)
注:装置が装着された治療途中の写真を加えること
- ⑤ 模型写真 (D) (5枚組：正面、側面(左右側)、上下顎咬合面)
- ⑦ 側面頭部X線規格写真(セファログラム) および トレース (E)
(手書きトレースと同程度の再現性・倍率でコンピューター処理したものは可とする。)
- ⑧ セファロトレース重ね合わせ：全体 (F)、上顎骨、下顎骨 (G) : 治療段階毎に色別で表記
(手書きトレースと同程度の再現性・倍率でコンピューター処理したものは可とする。)
- ⑨ その他正面セファロなど (省略)

操作方法

起動

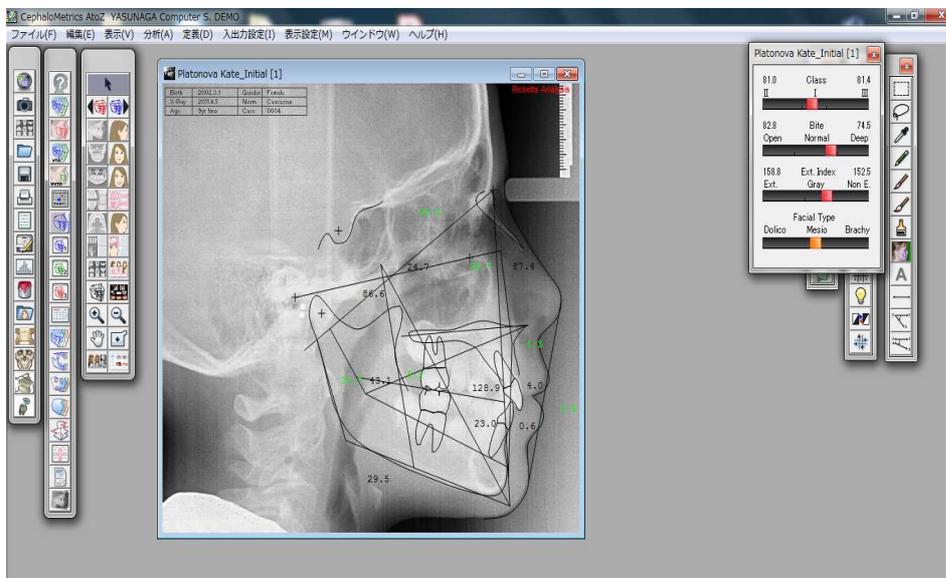
2109年バージョンアップ済み AtoZ に追加された機能限定版の AtoZ を起動します。
メニューの分析を USER4 の「専門医制度」を選択します。

(A) 側面頭部X線規格写真の分析結果

矯正開始時、治療終了時、保定の分析結果を作成する手順。

まず3つのウィンドウに矯正開始時、治療終了時、保定の順序で開きます。開く順序を間違わないでください。

矯正開始時のデータを window1 として開きます。

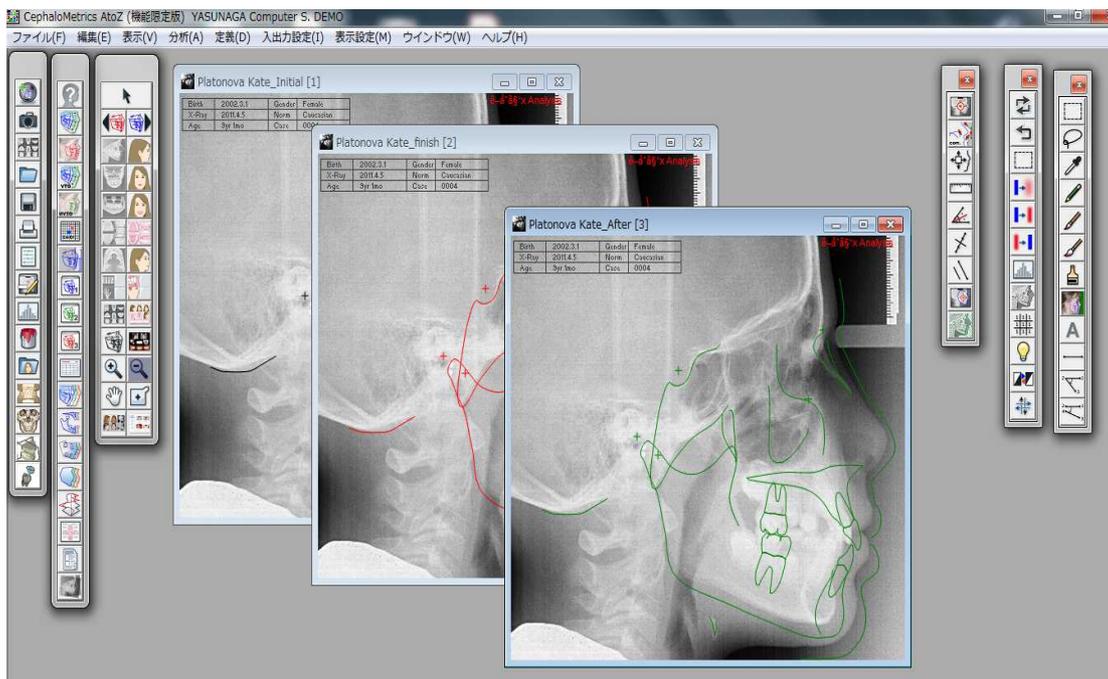


分析から「専門医制度」を選択します。



続いて動的治療終了時のデータを window 2として開きます。赤色のラインで開きます。

続いて動的治療後 2年以上のデータを window 3として開きます。緑色のラインで開きます。



ツールウィンドウまたはメニューから「計測値」を選択して開きます。



ツールウィンドウまたはメニューから「計測値」を選択して開いた表が下記。

| Name: Platonova Kate | | YASUNAGA Computer S. DEMO | | | | | |
|----------------------|-----------------|---------------------------|------|------|------|--------|--------|
| Birth: 2002.3.1 | Gender: Female | 2019.10.25 | | | | | |
| X-Ray: 2011.4.5 | Norm: Caucasian | CephaloMetrics AtoZ | | | | | |
| Age: 9yr1mo | Status: Initial | | | | | | |
| Analysis | 専門医制度 | Platonova Ka | Norm | S.D. | C.D. | 9yr1mo | 9yr1mo |
| 骨格系 | | | | | | | |
| SNA | (dg) | 86.90 | | | | 87.36 | 87.75 |
| SNB | (dg) | 81.14 | | | | 81.77 | 81.68 |
| ANB | (dg) | 5.76 | | | | 5.59 | 6.07 |
| Facial Angle | (dg) | 82.89 | | | | 83.87 | 84.20 |
| Y-axis | (dg) | 65.31 | | | | 65.19 | 65.00 |
| FMA | (dg) | 29.29 | | | | 28.39 | 28.41 |
| SNP | (dg) | 80.98 | | | | 81.44 | 81.33 |
| Gonial angle | (dg) | 128.30 | | | | 127.40 | 127.51 |
| PO-NB | (mm) | -0.28 | | | | -0.62 | -0.66 |
| 歯系 | | | | | | | |
| Occlusal Plane-SN | (dg) | 21.71 | | | | 21.33 | 21.88 |
| U-1 to SN plane | (dg) | 103.71 | | | | 100.21 | 100.21 |
| IMPA | (dg) | 96.20 | | | | 98.37 | 98.85 |
| FMAI | (dg) | 54.51 | | | | 52.64 | 52.74 |
| Interincisal Angle | (dg) | 128.88 | | | | 130.00 | 129.66 |
| Mx1 - APO | (mm) | 4.64 | | | | 4.70 | 5.51 |
| 10 L1 to APO | (mm) | 1.18 | | | | 2.50 | 2.81 |
| 軟組織 | | | | | | | |
| E-Line upper | (mm) | -1.03 | | | | -1.81 | -1.35 |
| E-Line lower | (mm) | 0.36 | | | | 0.62 | 0.98 |
| 模型 | | | | | | | |
| Overjet | (mm) | 3.73 | | | | 2.50 | 2.87 |
| Overbite | (mm) | 2.50 | | | | 2.50 | 1.33 |

分析中にある U1 to APO(mm)、L1 to APO(mm)に注意してください。
 またオーバージェットとオーバーバイトは模型を計測することになっています。表に表示されている計測値はレントゲンでの計測です。ノギスで模型を計測して表を完成してください。指定のフォーマットに数値を書き写してください。

注意： 分析の種類、順序が症例課題によって異なりますので、表を作られるときは注意してください。分析値は違うことも考えられますので、提出前に必ずご自身で確認を行ってください。

(B) 顔面写真 (左から側面・正面・できればスマイル)

ビューレイアウトの機能を使います。

ビューレイアウトで下記のフォーマットを選択して、印刷します。

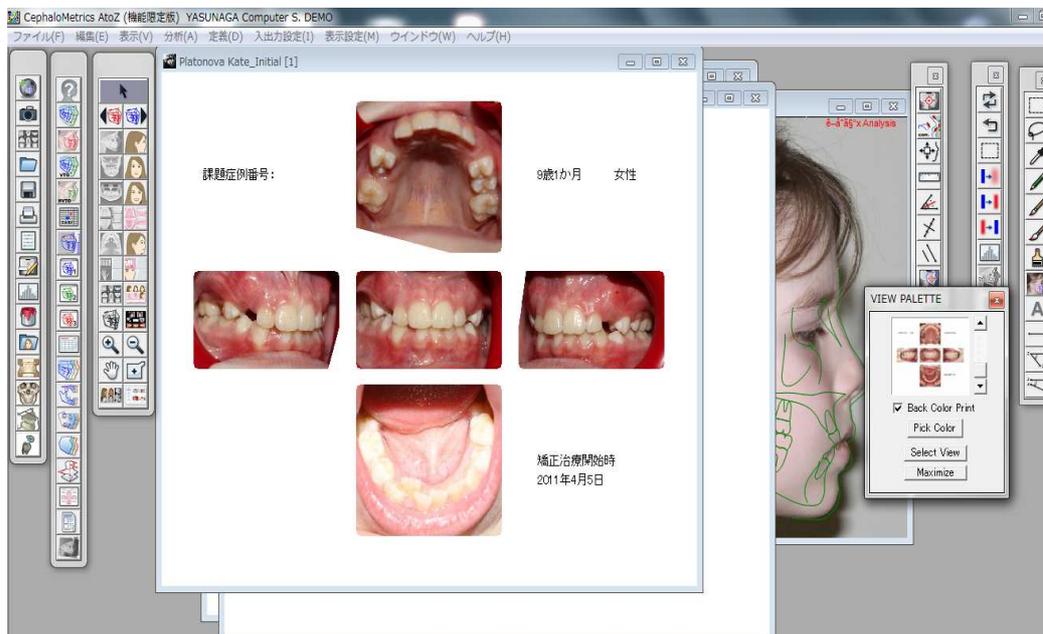


Window1 の場合は自動的に治療開始時と表示されます。Window1 から Window3 まで行います。

(C) 口腔内写真 (カラー5枚組 : 正面、右側、左側、上下顎歯列)

注:装置が装着された治療途中の写真を加えること

ビューレイアウトの機能を使います。

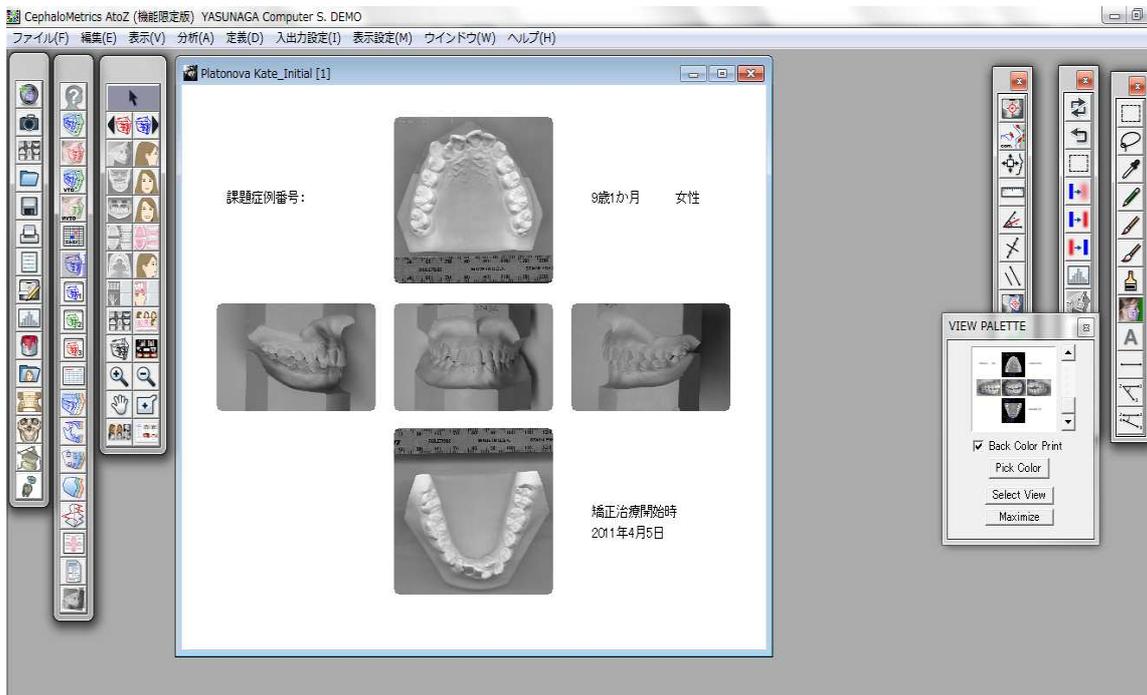


Window1 の場合は自動的に治療開始時と表示されます。Window1 から Window3 まで行います。

(D) 模型写真 (5枚組：正面、側面(左右側)、上下顎咬合面)

(D)の作成手順です。

ビューレイアウトの機能を使います。

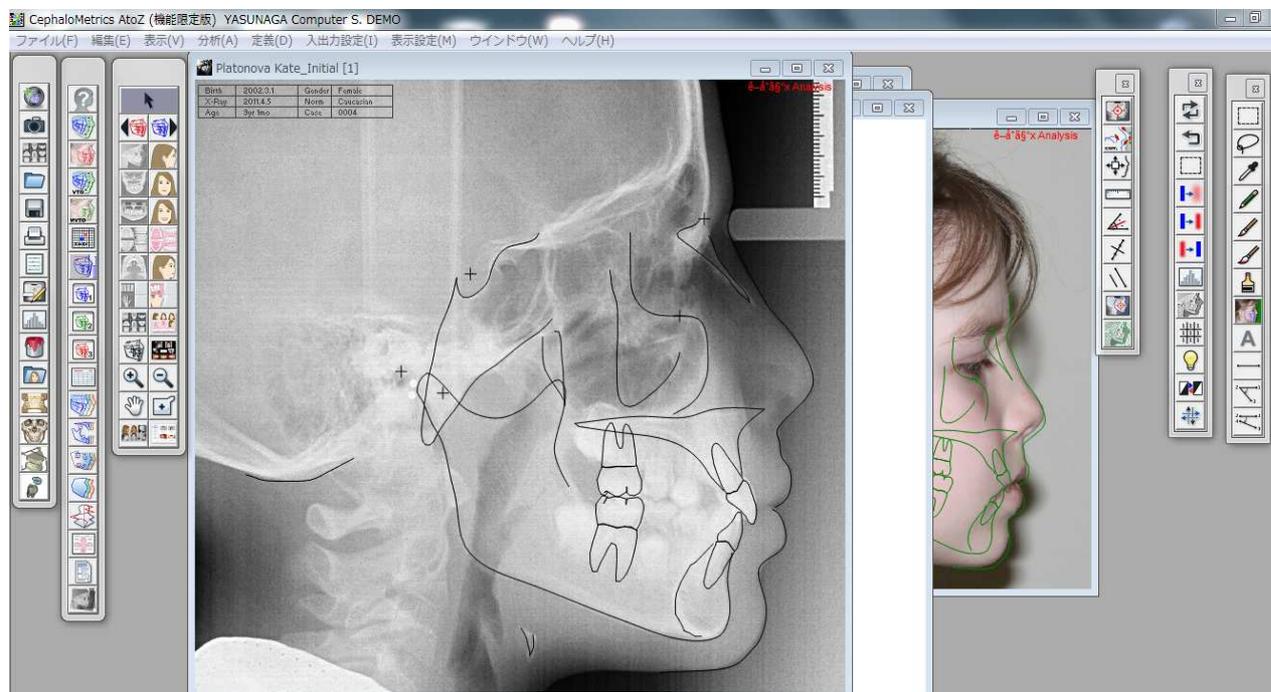


Window1 の場合は自動的に治療開始時と表示されます。Window1 から Window3 まで行います。

(E) 側面頭部X線規格写真(セファログラム) および トレース

(E)の作成手順です。

トレース表示/非表示ツールをクリックします。Window1からWindow3までトレースを重ねたレントゲン画像の状態にします。Window1からWindow3までページ1から3として印刷を行います。

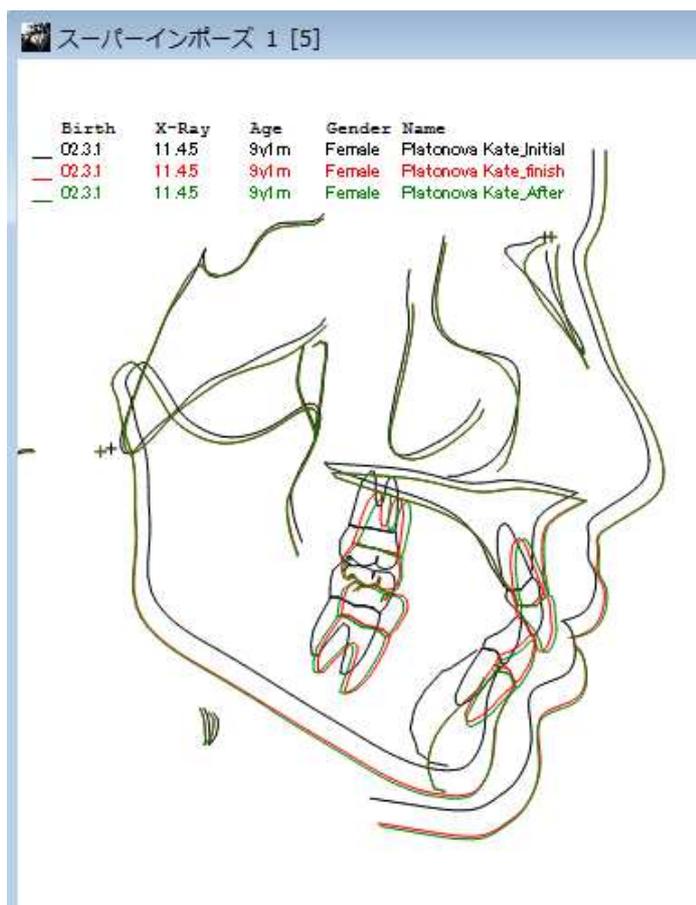


(F) セファロトレース重ね合わせ：全体

(F)の作成手順。Window1 から Window3 まで開いておきます。
スーパーインポーズ(全体)ツールをクリックします。

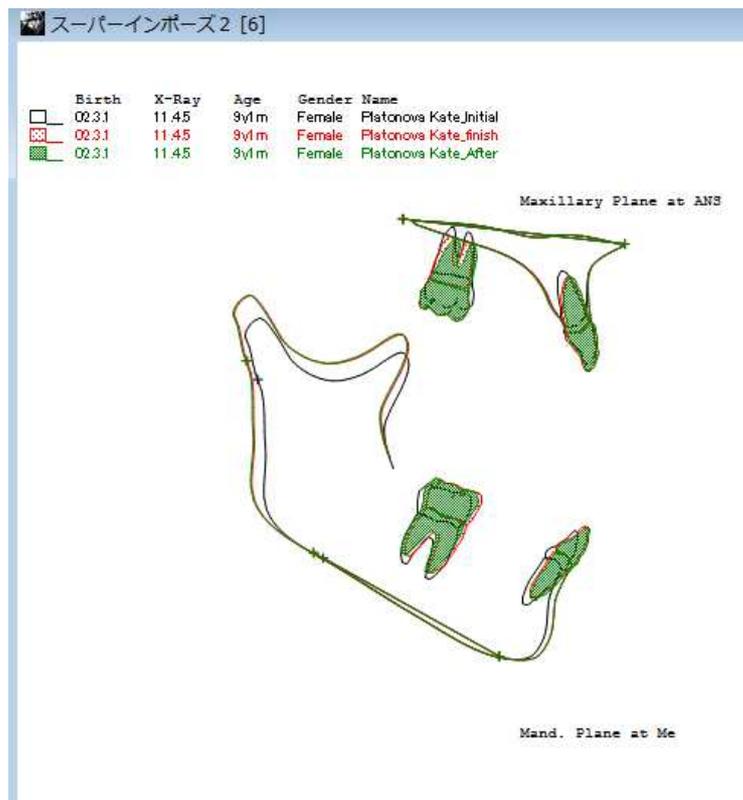


3つのウインドウのスパイインポーズ(全体)が作成できます。



(G) セファロトレース重ね合わせ： 上顎骨、下顎骨

Window1 から Window3 まで開いておきます。スーパーインポーズ(上下顎)ツールをクリックします。



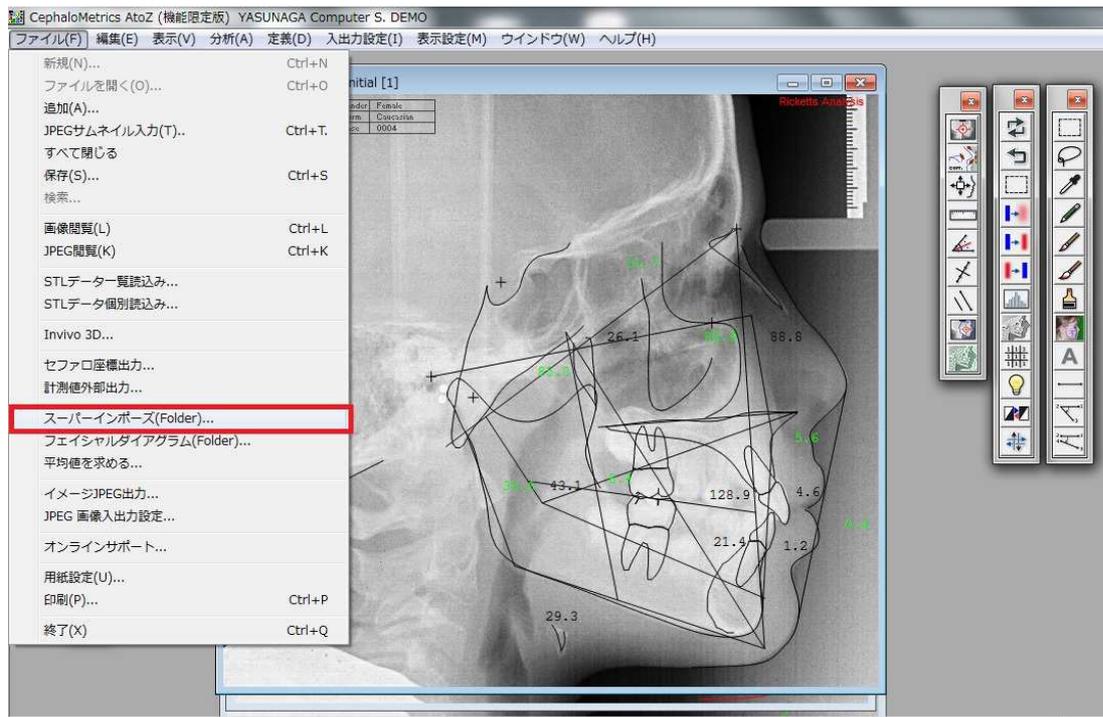
3つのウインドウのスーパーインポーズ(上顎・下顎)が作成できます。

課題症例番号 6: 早期治療症例 5枚のトレースのスーパーインポーズについて。
(乳歯列期もしくは混合歯列期から開始し、二段階で治療が行われた症例)

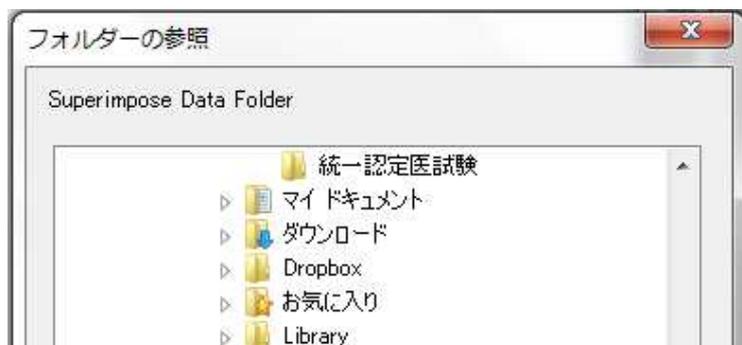
手順

最大5つのステージの重ね合わせが必要です。従来のAtoZではWindowが3つまでしか開けませんので、フォルダにデータをまとめてそのフォルダのスーパーインポーズとすることで対応しています。ですからこの作業を行う前に5つのステージのAtoZの患者データを指定のフォルダにまとめておきます。

ファイルからスーパーインポーズ(Folder)...を開きます。



その指定のフォルダを選択します。

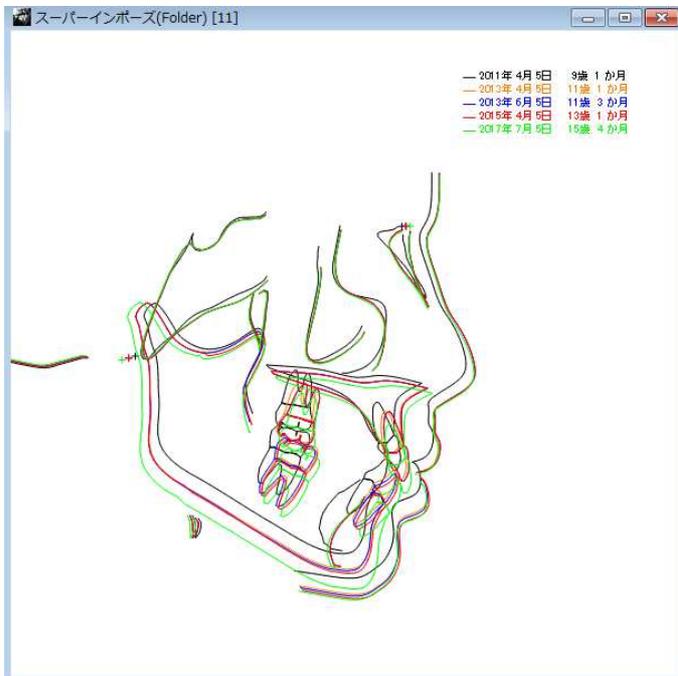


重ね合わせタイプ選択の画面が表示されるので、出力したい項目のラジオボタンを選択してOKをクリックします。(ここではトレース全体を選択します)

重ね合わせの定義の入力画面が表示されますので、入力してOKをクリックします。



5枚画像のスーパーインポーズの資料が作成できます。



トレースラインの追加について(新規機能を含む)

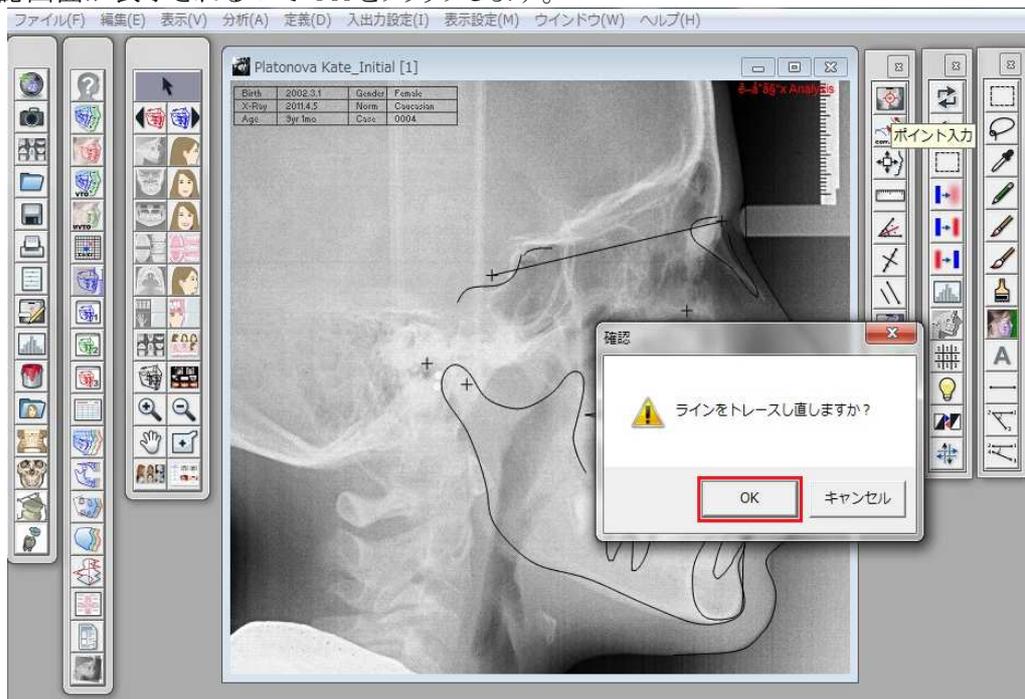
トレースラインが軟組織と下顎、上顎だけしかかかれていない場合、統一専門医制度用のトレースでは認められないため、追加でトレースを書き込むことができます。

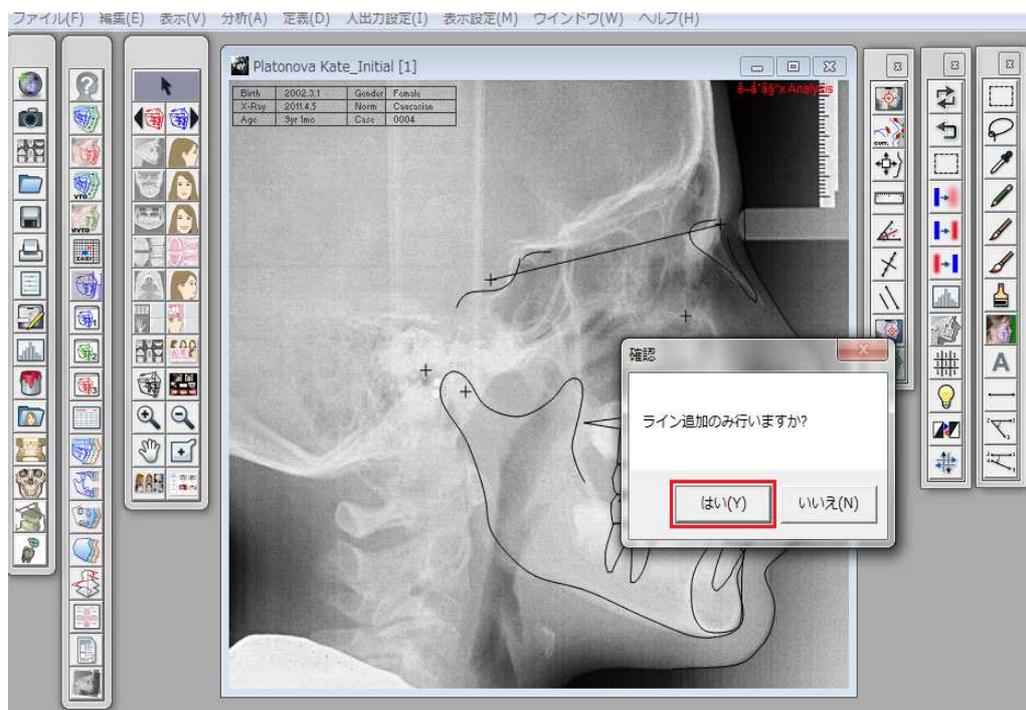
(新規機能) 統一専門医制度用の AtoZ ではトレースのラインは追加してラインを書き込むことができます。引き直しができます。

追加するラインは何本も追加できますが、追加したラインの修正は別途修正ツールで行います。赤枠のポイント入力ツールを Shift ボタンを押しながらクリックします。



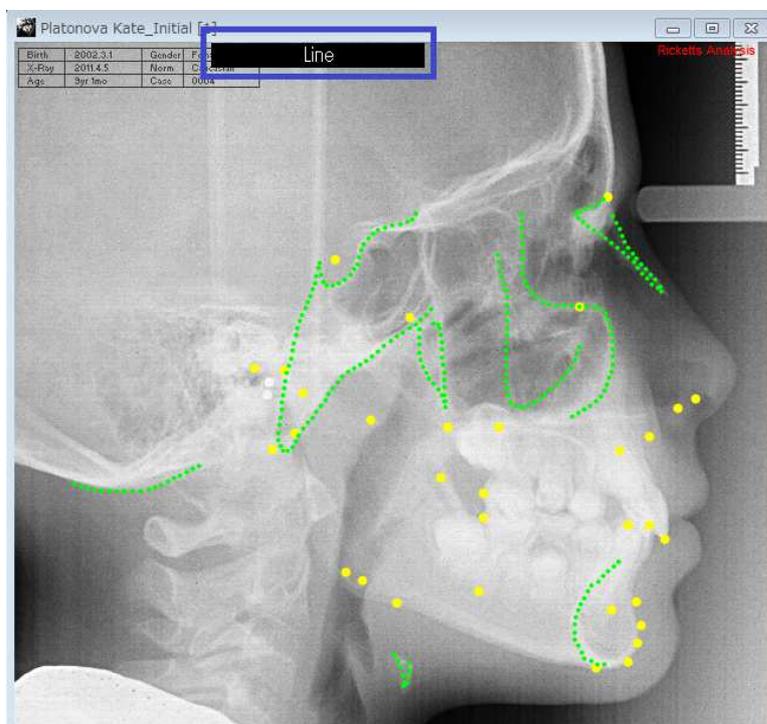
確認画面が表示されるので OK をクリックします。



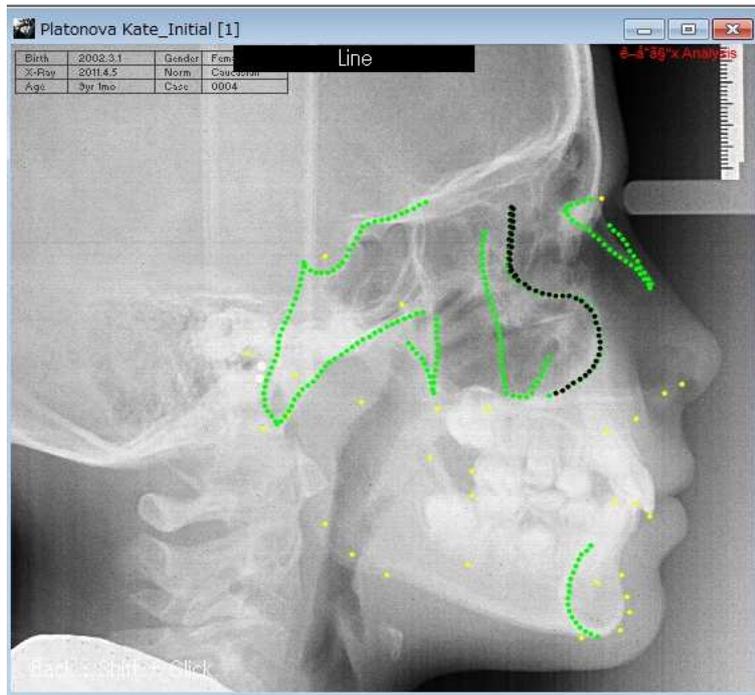


続いて、もう一度確認画面が表示されるのではいを選択します。レントゲン画像に Line が表示されます。

マウスを押したまま移動してトレースラインを入力します。途中で緑の点が切れることもありますがそのまま最後までひいてください。(緑のライン)



今入れた直近のラインをやり直す場合は Shift ボタンを押しながらマウスをクリックします。(入力したラインが黒点線に変化)再度同じところをやり直すことができます。



ライン入力が完了後、矢印ツールを押して作業を閉じます。データファイルは保存してください。

トレースのラインの修正は修正ツールから行います。修正は何度でも引き直しができます。修正したいラインの始点にカーソルを持っていくと二重丸になります。変わってからマウスで押しながらラインを引きます。

ラインが修正されます。ラインのドットの修正はできません。

